

ありが隊新聞



第123号

2023.7.27 発行
編集 望月ひとみ

● 松川携帶

- 和知野川キャンプ場売店・ワチカフェ 営業日…八月十六日まで毎日営業中
- 番づくり 畑に出没する獣ですが、畠を仕掛けてもらつたりしましたが、いまだ捕獲までに至らず…カメラには犯人の映像が記録されており、アナグマが映っていました。近隣の畠で被害が出ているようで、早く犯人が捕まつて欲しいと願っています…収穫が少しはじまりました。
- 和知野川キャンプ場 営業時間…午前十時～午後五時
- 回観の村民優待券を使ってください



キャンプ場のInstagram
フォロワー1000人達成しました!
最新情報はコチラからご確認を

「あとからくる者のために」坂村真民

あとからくる者のために
苦労をするのだ
我慢をするのだ
田を耕し
種を用意しておくのだ
あとからくる者のために
しんみんよお前は
詩を書いておくのだ

あとからくる者のために
山と
川と
海を
きれいにしておくのだ

あとからくる者のために
みなそれぞれの力を
傾けるのだ

あとからあとから続いてくる
あの可愛い者たちのために
未来を受け継ぐ者たちのために
みな夫々（それぞれ）自分で
出来るなにかをしてゆくのだ



も重なる坂村真民先生の詩を皆様にシェアさせて頂きます。

● ソロキャンプ 中井侍地区のご厚意で集会所下でキャンプをさせていただきました。当日はバタバタで…夕暮れがとうございます。地面が砂地になってしまいお客様の反応が心配でしたが、常連さんから、砂地の方が虫が少なくて快適だったと言つていただき怪我の功名…川も中洲の砂を寄せて浅瀬が復活しました!七月前半の回覧でキャンプ場の告知を思っています。



7月のビオトープ田んぼは、シユレーゲルアオガエルとアマガエルの子供たちや、オニヤンマ、シオカラトンボ、アキアカネたちが、続々と巣立って行っています。稻に大量発生したイネドロオイムシ達も地道に駆除して、食害されて白くなっていた葉も無事に緑色に戻り、順調に成長しています。夜にはヘイケボタルも確認でき、小さな可愛い光が来年はさらに増えてくれることを願っています。

ブルーベリー畠のブルーベリーも収穫の最盛期を迎え、連日の収穫作業や、カフェで提供するブルーベリーソースの仕込みに追われています。

天龍村林業女子研究会主催の木工クラブ「ハンガー作り」も告知がうまくできなかつたにも関わらず、お力を貸しくださる方がご参加くださり、今後の展開がとても楽しみになりました。そして今回は、予防医学のお話はお休みして、心に火を灯してくださるような、温かくシンプルな言葉で詠まれた、今の私の心情と



まつかわの活動 「六月中旬～七月中旬」 松川友哉

梅雨から夏へ季節が一気に変わりましたね。

● 和知野川キャンプ場

六月の豪雨で浸水したキャンプサイトは、金田組さんのご厚意で整地していただきました。ありがとうございます。地面が砂地になってしまいお客様の反応が心配でしたが、常連さんから、砂地の方が虫が少なくて快適だったと言つていただき怪我の功名…川も中洲の砂を寄せて浅瀬が復活しました!七月前半の回覧でキャンプ場の告知を思っています。



天龍村きりんちゃん月記 小幡厚子(季輪)

天龍村きりんちゃん月記 小幡厚子(季輪)



↑ 茶摘み体験ツアー

↓ 紅茶用茶摘み



春の茶摘みのトレーニングも兼ねて手摘みでも行なっているのですが、だんだん若手も摘めるようになってきており、摘み手の成長を感じています。手摘み手の成長を感じています。週間ほど遅れていますが、七月十七日に初出荷後、一気に採れるようになつきました。この調子でここからたくさん収穫出来ると嬉しいです。暑さで大変な日が多くなつてきましたが、体調に気をつけ、外で作業する時間と屋内での仕事をする時間のメリハリをつけて生きていくたいと思います。

六月は週末には茶摘み体験ツアーの受け入れが多く、普段はお茶の製枝やお茶を詰めたりといった製品づくりで忙しい日々でした。お茶は製枝後の伸びが悪く、紅茶用の摘採が遅れていますが、七月八日に手摘みでの収穫は出来ました。

(文・篠田 大樹)

六月からの活動

モチの天龍やんやんやん 文 望月ひとみ
天龍村に移住し、初めての夏を迎えた。第一弾「ていざなす」完成

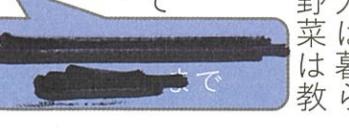
六月は週末には茶摘み体験ツアーの受け入れが多く、普段はお茶の製枝やお茶を詰めたりといった製品づくりで忙しい日々でした。お茶は製枝後の伸びが悪く、紅茶用の摘採が遅れていますが、七月八日に手摘みでの収穫は出来ました。

六月は週末には茶摘み体験ツアーの受け入れが多く、普段はお茶の製枝やお茶を詰めたりといった製品づくりで忙しい日々でした。お茶は製枝後の伸びが悪く、紅茶用の摘採が遅れていますが、七月八日に手摘みでの収穫は出来ました。

去る七月一日。とうとう初出荷することになりました。まだシーズンはこれからですが、たくさんの方の支えのおかげで、出荷規格内でのいざなすを栽培することができます。梅雨前の低温期、梅雨の長雨と、生育には好条件とはいえない定植後でしたが、はじめのことなので大変というよりは、「こういうときはこういう対処を」と教わりながら、夢中で日々が過ぎました。(現在進行形)。ていざなす組合の剪定講習会にも参加させていただき、勉強になりました。ついでに、1日にしてならず、生産者のみなさまの長年の経験により、いまの天龍村でいざなすが、あります。ベストパフォーマンスを尽くして、私自身の活動が後世の役に立つ。ついでに、1日にしてならず、生産者のみなさまの長年の経験により、いまの天龍村でいざなすが、あります。ベストパフォーマンスを尽くして、私自身の活動が後世の役に立つ。



★販売について
・八月一日より村内にて
(販売箇所は調整中)
・一枚一六五〇円
(二〇〇枚限定価格)
望月個人へもメールで
直接ご注文いただけます。



上段で、生産者の経験の積み重ね云々と書きましたが、それもこの同じく「ていざなす」の成長になっていざなすは1日にしてならず。天龍村でいざなすが、あります。天龍の自然環境を生かして、といふことが大前提になります。その地の自然を抜きにしては人は暮らせないということを伝統野菜は教えてくれます。



七月の活動内容

七月に入り大変暑い季節となりました。自身の活動としましては、先月に引き続き天龍村の歴史書籍の制作に向けた原稿の作成を行いました。

天龍村に住んでいる

野菜の「お裾分け」をしてもらうことがあります。市場経済から考えると「お裾分け」は非合理なやり取りですが、近代以前の村落を考えるうえで重要な要素になります。必要な物をお金で手に入れ、必要でない物を売つてお金にする。商品の需要と供給が織りなす市場経済の前提にある考え方とは方向性が異なる仕組みが、お裾分けです。品物は市場を介すると商品になりますが、お裾分けは市場を介しません。市場を介していないので、お裾分けで貰う物品は商品ではありません。そして重要なのが

は発生しずらいということです。



で食べれるのか
共同体の性質が強い
家族を第一考慮にのみま

家族を例に考えてみます。家族の内部では商品は発生しません。母親に「今日の朝ごはんは三百円だよ」と言わされたらたまたまつたものではありません。もし仮にそうなった場合、朝ごはんは商品になります。そして朝ごはんを提供する売り手と、提供してもらう買い手に供してもらいうかい手によって市場が形成されます。しかし実際は家庭で朝ごはんは無料で食べることができます。それが可能なのは朝ごはんが商品になつてい

家族ニヤでなく村落

家旅がけでなく本業でも同じです。商品が流通すればするほど、共同体の内部で貸し借りが行われなくなり、共同体の性質は弱くなっています。その代わりに人間関係のしがらみからは解放されます。現代のわたしちはこれを「自由」呼んでいます。買いたい物をネットで素早く購入し、時間や空間の制約もほとんど関係がなくなりました。

誰でも良いからお裾分けをしようとは思いません。もしそのようない人がいたら慈悲深い菩薩です。それともなければ、野菜が余つて仕方がないから、そこらへんの家の奴に押し付けようとする底意地の悪い悪魔かです。

実際はそうではなく、「いつもお世話になつていてるから」とか「あそこの人ちゃんは独り身だから、ろくな飯を食つていらないだろう」といった親切心からです。そこにあるのは人間関係といつた制約です。お裾分けするときにはお裾分けをする相手を選んでいます。その制約を取り払うのが商品流通です。しかし完全に払しょくされるわけではありません。

例えば、「あそこで商品を購入するのはいつもお世話になつているからだ」とか「こないだあのお店の人があなたのサービスをしてくれたから」といった心情は人間関係が絡んでいま

た仕組みで経済活動が行われています。しかし、人間関係の制約をなるべく取り払う大きなお店がでかけると、商店街の活性はなくなつていきます。

『古田家へはや』を詠問しました！

第一弾を開催した際に持つていつてもらつた食器たちが、どのような場所で使ってもらつているのかを見せていただきました。六月末に、阿智村にある『古民家 つぼや』さんを訪問させていただきました。昭和初期に建てられた町屋造りの古民家を活かし、地域の情報発信や人の集まる場所としての役割を担つてている建物で、建物の中には古き良き、趣のある家具や小物が所々に置いてありとても素敵な空間でした。そしてその素敵なものたちの中に、天龍村のお家からお嫁に行つた食器たちが、これまた趣のある棚に綺麗に並べておいてありました。『つぼや』さんのもつ雰囲気にしつかり馴染んでいるように見えて、嬉しい気持ちになりました。当日は「阿智村全村博物館協会」の代表理事・林さんからもの・古民家のことや、それらを通して考える村づくりのこと、さまざまなお話を聞かせていただきました。最後に「の」緑回一度限りで終わるのではなく、今後も交流を続けていきたいお話しもさせていただきました。

「古民家 つぼや」さん、「協力」とても有意義な時間でした。ありがとうございました。

「古民家つぼや」は、昭和初期に建てられた町屋造りの元呉服屋。取り壊される予定だったところを【こまんばmachi】プロジェクトの方々の手によって修繕・利活用され、「阿智村全村博物館協会」の拠点施設を始め、セルフカフェを設置し休憩所や地域の案内所としてまたイベントなどの会場として利用されたり、建物内や庭の見学をしたりできるようになっています。

第二弾 ガレージセールを開催しました！六月二五日(日)～二八(水)の四日間で『第二弾 天龍村ガレージセール』を開催しました。開催日がほとんど平日だったこともあり前回ほどの来客数ではありませんでしたが、村内外から会場に足を運んでいただき、「前回行こう」と思っていたけれど都合が合わず来れなかつたので、今回來ることができてよかつた！」「SNSの情報を見て、来てみたいと思った」などのお声をいただき、楽しんで頂けて本当にありがとうございました。

次回は七月二二日(土)・二三日(日)、おきよめの湯ピロティにて！

おそうじ道 ⑯ 「 夏の掃除を楽しもう !

村内で回収した食器類を整理して旧阿南部品にて第3回で開催しました。平日に来場された方は飲食業などの方が多く、今回の模様がNBSのニュースにも取り上げられ、反響も大きかつたです。第3弾は7月22日㈯ ゆめの湯入口横で開催させて頂くことになりました。

おそうじ道 ⑯ 「 夏の掃除を楽しもう！」

天龍チャンネルでも「紹介しますPR動画
る奏者（プロの和楽器奏者）の皆さんが8月
「おきよめの神の物語」を題材とした公演
を行う事になりました。それに伴い、
村の情報発信・特産品などの紹介もさせて
頂きます。関東・首都圏のお知り合いの方に
ご紹介ください。詳細がお聞きになりたい
場合はご連絡ください。

暑い日が続きます。カフェでも夏メニュー「わちごおり」(かき氷の中に和菓のアイス入り)の提供始めました。村内で採れたヤマモモ(松島で収穫)、ブルーベリー、柚子と八朔のシトラス、中井侍茶、村産ほうじ茶などシロップは手作りです。

川遊びにいらっしゃたら、ぜひ素敵な空間の和知野川キャンプ場ワチカフェへ:お立ち寄りください。

*モーニング営業 7・8月毎週日曜日(7時~10時)
*カフェ営業 7月15~毎日営業(10時~17時)